



予選レポート

2018/4/21 Rd-1 鈴鹿サーキット

天候：晴れ 気温：23℃ 出走台数：19台

現行スーパーフォーミュラレースカーである SF14 最後のシーズンとなる今季、各チームの仕上がりはまさに僅差となっている。しかし、2018 シーズンは全戦において 2 スペックタイヤ制となり、一発のグリップに勝るがライフの短いソフトタイヤと、グリップでは劣るが長く安定して周回できるミディアムタイヤの、異なる 2 種類のタイヤ使用が義務付けられ、チーム戦略によっては荒れたレース展開が予想される。すなわち、優位に戦略を進めるためには、予選ポジションが例年以上に重要だ。

ノックアウト第 1 予選は全車ミディアムタイヤでアタック。今季スーパーフォーミュラ初参戦の松下選手は、初予選とは思えない走りで 1 番手。5 年目を迎えた野尻選手は、バランスにやや不満を残しつつも 5 番手で第 2 予選へ。

続く第 2 予選は、全車ソフトタイヤでアタックとなる中、野尻選手は 2 番手に大差をつけて 1 番手に。松下選手も、野尻選手に匹敵するタイムを更新しながら第 3 セクターに入ったその時、コースオフ車両が発生し赤旗中断。ソフトタイヤのベストパフォーマンスをふいにすることとなってしまふ。残り時間 3 分間で第 2 予選は再開されたが、タイムアップならず、松下選手は 12 番手で予選を終える事となった。

第 2 予選に続いて首位を狙う野尻選手は、第 3 予選をミスなくまとめたが、僅か 2/100 秒差で 3 位となった。

5：野尻智紀 選手 予選 3 位（第 1 予選 5 位、第 2 予選 1 位、第 3 予選 3 位）HONDA 勢 3 位
明日は 300 km のロングレースですから、3 位からのスタートは十分に優勝を狙える位置ですが、フリー走行から通して好調で、ポールポジションを狙っていただけに、悔しい気持ちでいっぱいです。気持ちを切替えて、明日に向けてチームと共に戦略とセットアップを検証し、先頭でゴールすることに集中します。

6：松下信治 選手 予選 12 位（第 1 予選 1 位 第 2 予選 12 位）HONDA 勢 7 位
第 1 予選、第 2 予選と非常に調子よく、チームメイトの野尻選手とともに上位で予選を終える自信があったのですが、赤旗でアタックが不発に終わってしまったのが残念です。予選再開時にニュータイヤでアタックする選択肢もあったのですが、第 3 予選に進むことが出来る自信があったのでニュータイヤを使わなかったのが反省点ですね。
我々の車は決勝のペースも速いと思うので、明日の決勝ではアグレッシブに攻めて上位フィニッシュを目指します。